

ICLEI リーダーズ COP29 成果声明

私たち、ICLEI-持続可能な都市と地域をめざす自治体協議会-に所属し、COP29に参加した下記署名の地方および地域のリーダーたちは、バクーを後にする際、その成果に対して複雑な思いを抱きつつも、決意を新たにしました。気候変動対策と適応を軌道に乗せ続けるためには、地方および地域の政府がこれまで以上に必要とされているのです。

私たち、ICLEI ネットワークに所属する地方および地域の政府は、持続可能性を追求する使命のもとに団結しています。公平公正、ゼロカーボン（脱炭素）、自然基盤、循環型、そしてレジリエントという5つの持続可能な発展の道筋に導かれながら、私たちの究極の目標は、世界中の都市、町、地域を持続可能で、強靱で、包摂的で、安全なものにするために、地方および地域の政府のコミットメントを大幅に拡大・強化することです。

私たちのネットワークであるICLEIは、COPの場において独自の役割を果たしています。20年以上にわたり、地方政府および自治体（LGMA）コンスティチュエーションは、地方および地域の政府がグローバルな気候議論の中で主張する力を高める推進力となってきました。そして、ICLEIはUNFCCCにおけるLGMAの公式の窓口（フォーカルポイント）を務めています。今年、LGMAはCOP29に向けて強力な共同ポジションを掲げており、私たちはこれを積極的に支持し、後押ししました。

ICLEIに所属する地方および地域のリーダーたちは、COP29において、私たちが自らの地域や地方の気候目標を達成するだけでなく、野心的な国家およびグローバルな気候行動目標を実現する上で不可欠な役割を果たしていることを示すために参加しました。私たちのメッセージは明確です。国単独ではこの目標を達成することはできません。

しかし、私たちの国々もまた、志を共有する私たちのパートナーでなければなりません。今年、多国間の国際社会が極度の圧力に直面する中で、その成果は賛否両論でした。既存の投資額を3倍にする新たな気候資金合意が15年ぶりに成立したことを歓迎しますが、その金額は、気候変動とその影響に立ち向かい適応するために世界中のすべてのコミュニティを支援するのに真に必要な額には遠く及んでいません。

ほぼすべての点において、COP29の締約国は、この時代に求められる緊急性と野心に応えることができませんでした。

世界的なプロセスが深刻な脅威にさらされているこの困難な時期においても、私たちの都市と地域は、志を高め、行動を実現し、グローバルな連帯を支えることを望むすべての国家政府および国際社会にとって、これまで以上に強力なパートナーであり続けます。

COP29の議題および周辺会合において、私たちはこれを繰り返し目の当たりにしました。COP29は、11月20日の都市化の日（Urbanization Day）に、「第3回都市化と気候変動に関

する閣僚級会合」を開催し、気候危機に対応し持続可能な都市開発を加速させる上で、都市が果たすべき重要な役割が強調されました。ICLEIのリーダーたちは、この場で私たちのメッセージを伝える役割を果たしました。それは、多層的な行動を加速させ、公平に都市化を資金支援し、緩和、適応、生物多様性の中で相乗効果を生み出し、より健全な地球を創造することです。

ICLEIに所属する多くの地方および地域政府のリーダーたちは、COP28の「気候行動における高い志を持つ多層的パートナーシップの連合（CHAMP）」イニシアチブの積極的な推進者として、世界中で活動してきました。COP29では、CHAMPの影響力が示され、ブラジルの新たな国家気候目標の更新が発表されました。この目標では、多層的な行動とCHAMPが志を高めるための手段として言及されています。

COP29の希望の光の一つは、地方および地域レベルの気候対策に関する政治的合意と善意から得られるインスピレーションです。COPにおける緩和措置の合意をめぐる困難な交渉の中で、締約国は建築物および都市化に関する取り組みが最も有望な成果の一つであることに同意しました。この勢いを活かして、2025年にボンで開催される重要な中間気候会議、そしてCOP30が開催されるベレンへとつなげていきましょう。

COP30に向けて、私たちは今後の数ヶ月を共に歩む都市と地域のための二つの指針を示します。第一の指針は、ICLEIの年次イベント「Daring Cities Forum」であり、2025年にボンで開催される気候会議と併催されます。COP29の成果が、バクーで実現できなかった分野でボンの気候会議に依存している中、地方および地域のリーダーたちが自らの声を届けるために参加することは、これまで以上に重要です。Daring Cities 2025はその取り組みの重要な一部となりますので、ぜひ皆様もご参加ください。

第二の指針として、私たちは皆様に、自らのコミュニティで「タウンホール COP」を開催することを呼びかけます。これは、国家の目標と地域の行動を結びつける方法として実績のあるものです。COP29では、ICLEIはEARTHDAY.ORGと提携し、2025年の地球の日に世界中でタウンホール COPを実施することを発表しました。タウンホール COPは、COPスタイルの議論を都市、町、地域に持ち込むダイナミックなコミュニティ参加型プラットフォームです。このイベントは、地方レベルで行われるCOPであり、行政、専門家、地域の利害関係者、そして市民社会が集まり、気候変動の地域での経験と、気候の緩和、適応、損失と損害に関する戦略を凝縮した形式で評価し、議論する場です。

COP29が期待通りの成果を上げなかったかもしれませんが、ICLEIの地方および地域政府のネットワークは、気候危機に対する多層的かつ多国間の解決策へのコミットメントに揺るぎなく立っています。私たちは気候変動対策への取り組みを示し、政府や国際的なパートナーに対して、私たちの野心に応じた行動を取るよう呼びかけています。